

# 2022年3月期 通期決算補足資料

---

株式会社IMAGICA GROUP

証券コード：6879

2022年5月13日



1

**全社のれん償却前営業利益は51億円で上場来最高**

2

**全セグメントでのれん償却前営業利益が黒字化**

3

**当期純利益は前年の子会社売却益の影響もあり7億円減益**

・ 子会社売却などにより減収も、のれん償却前営業利益・営業利益ともに大幅増益

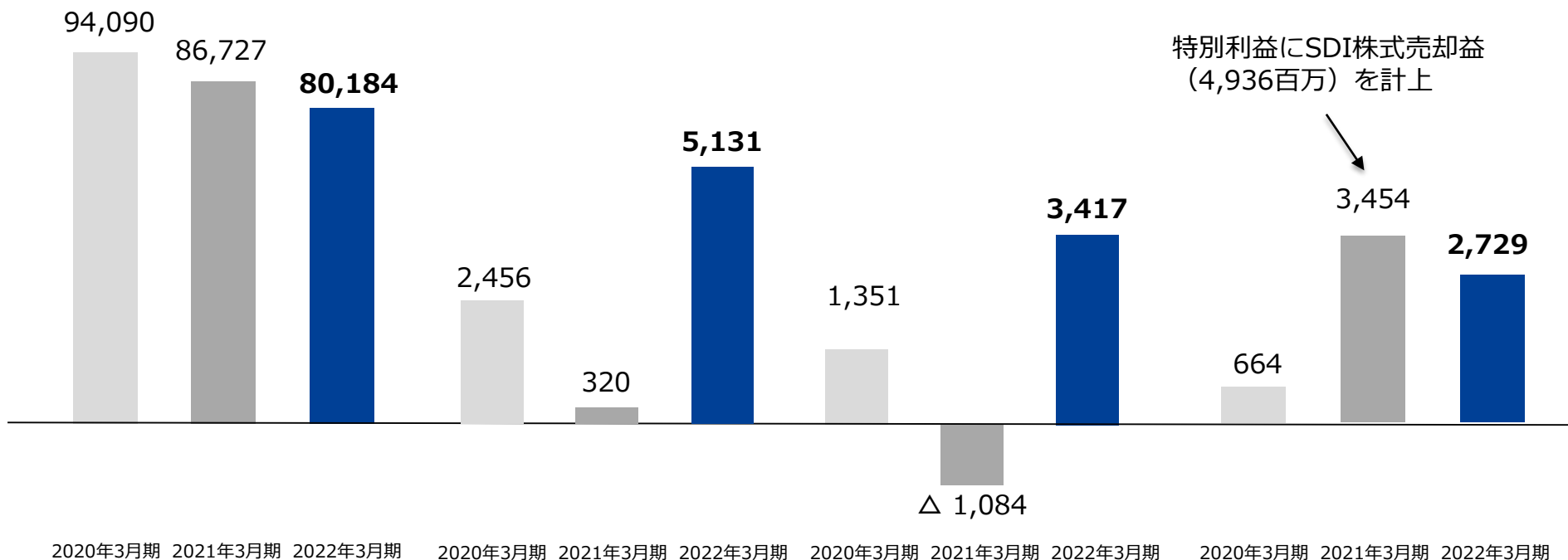
(単位：百万円)

**売上高**  
**80,184**  
前年増減額  
△6,543

**のれん償却前  
営業利益**  
**5,131**  
前年増減額  
+4,811

**営業利益/損失**  
**3,417**  
前年増減額  
+4,501

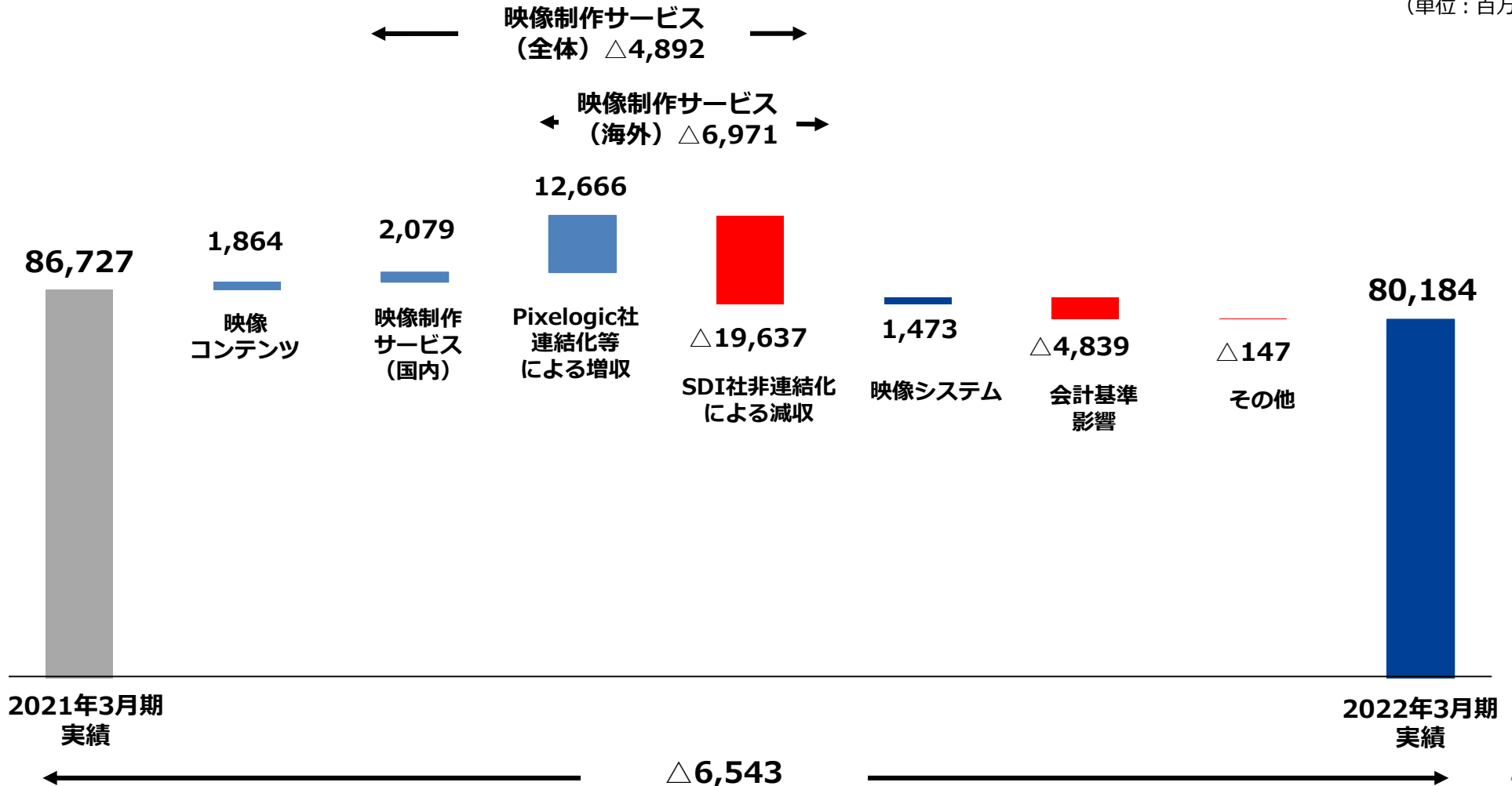
**親会社株主に帰属  
する当期純利益**  
**2,729**  
前年増減額  
△725



# 売上高の増減分析（前年比）

・ 子会社（SDI）売却と会計基準影響を除くと、全セグメントで増収

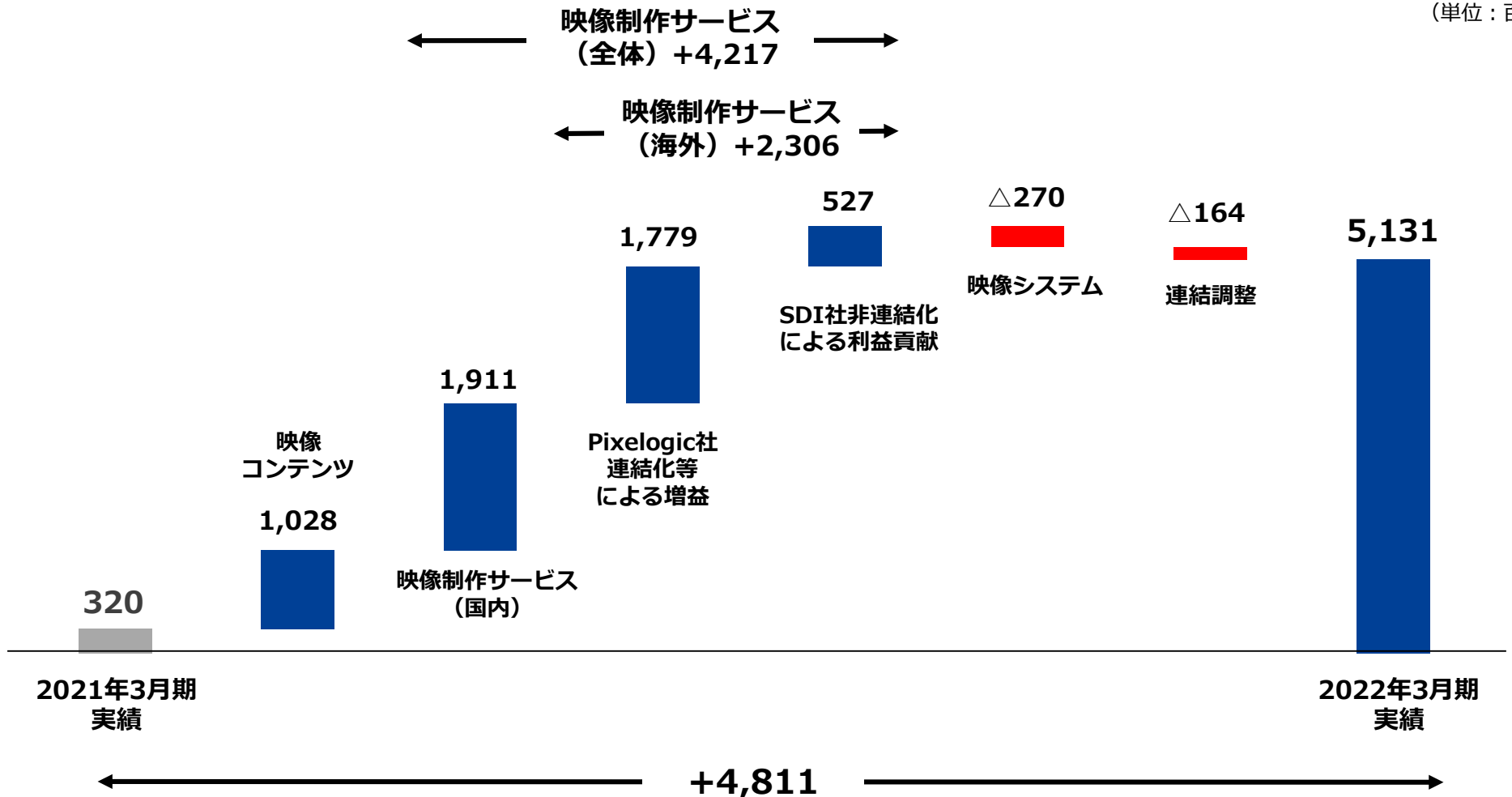
（単位：百万円）



# のれん償却前営業利益の増減分析（前年比）

・ 映像制作サービス42億、映像コンテンツ10億、連結で48億円の大幅増益

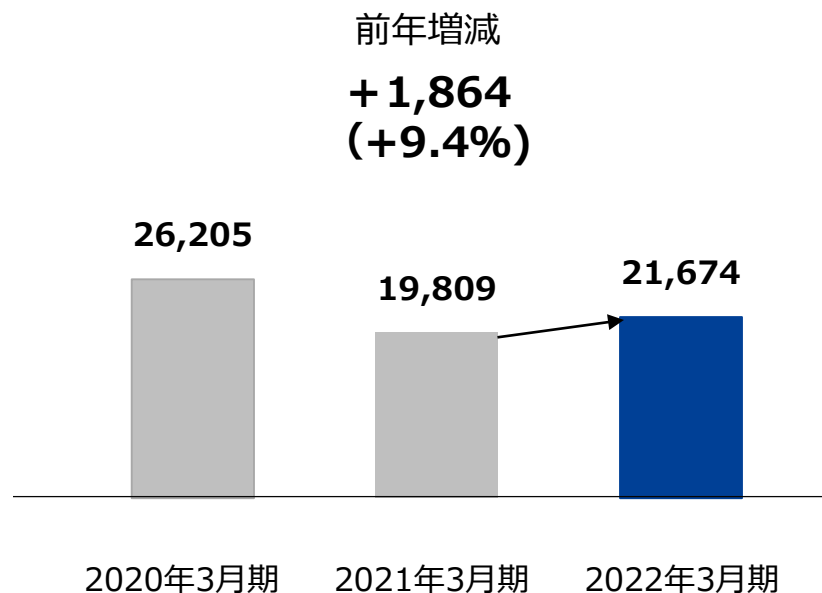
（単位：百万円）



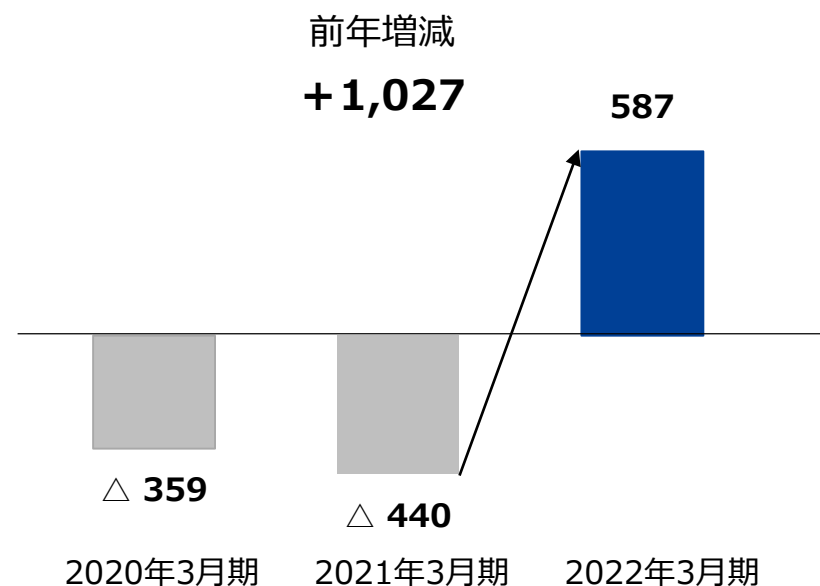
## ・CM制作の受注回復や音楽ライブ好調により収益性が改善、前期比10億円の増益

(単位：百万円)

売上高



のれん償却前営業利益



- ✓ CM制作の受注が回復、収益性も改善
- ✓ 劇場映画やTVアニメに加え、動画配信事業者向けドラマの納品もあり売上は堅調
- ✓ オンライン配信に加え、リアル開催での音楽ライブも回復して受注が好調

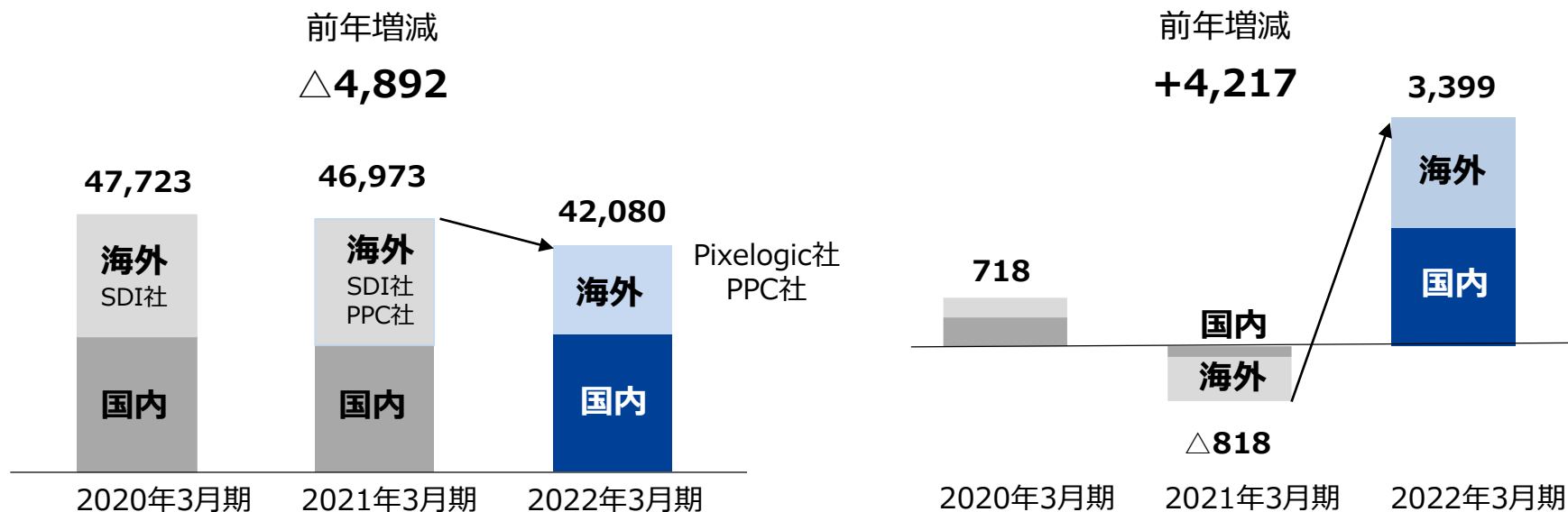
## ・グローバルE2Eサービス\*1の好調継続、国内の構造改革\*2等により大幅増益

売上高

のれん償却前営業利益

(単位：百万円)

数値は国内・海外の合算



- ✓ 国内では動画配信事業者\*3向けサービスが引き続き好調。劇場公開作品数増加によりデジタルシネマサービスが大幅改善。ポスプロも堅調。構造改革効果も加え利益が大幅に増加。
- ✓ 海外ではPixelologicの動画配信事業者向けのローカライズが引き続き好調。欧米の劇場再開に伴い、デジタルシネマ向けサービスの売上が増加し、利益が大幅に増加。

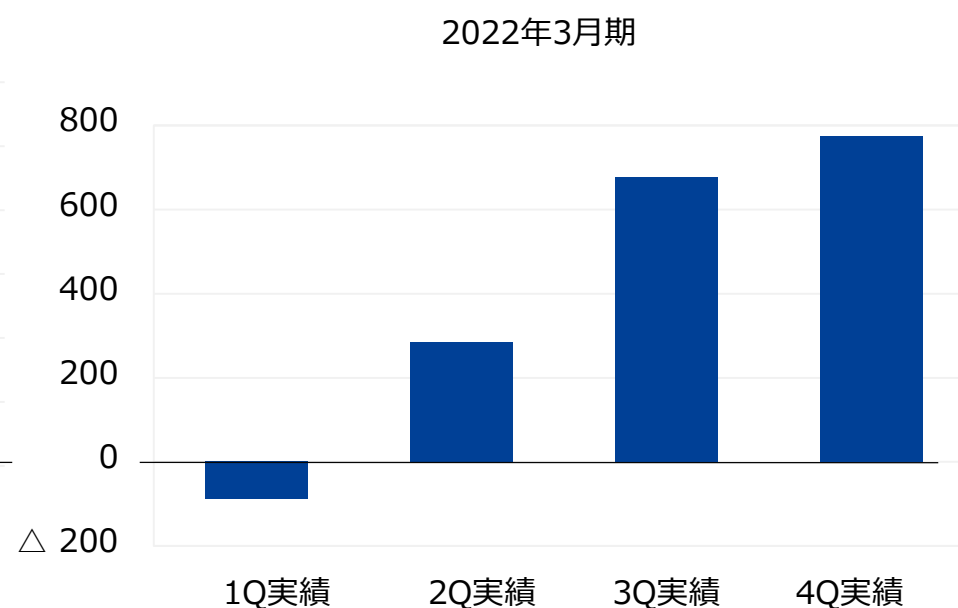
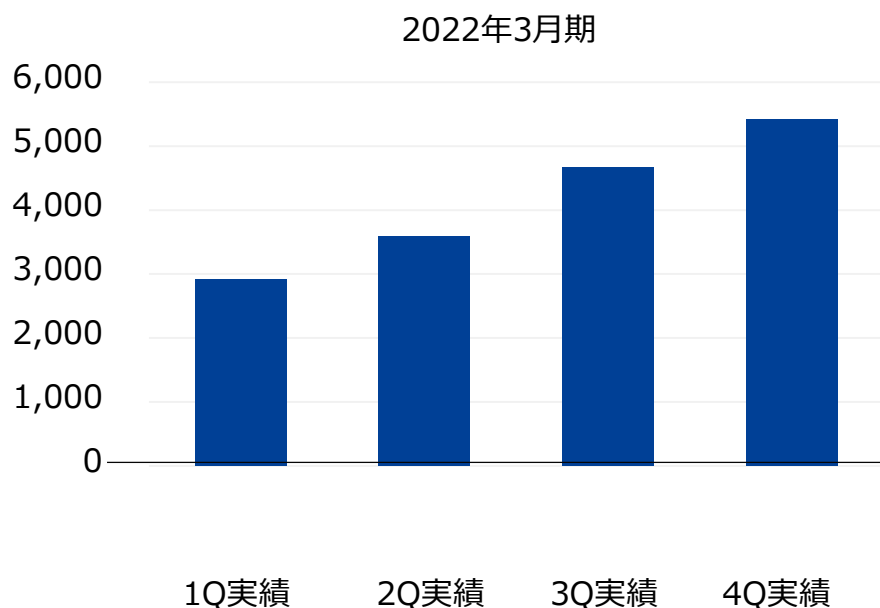
# 映像制作サービス（海外） 四半期別実績

・ 第4四半期も想定より売上・利益が上昇、好調なトレンドが継続

売上高

のれん償却前営業利益

(単位：百万円)



- ✓ 動画配信事業者向けのサービスは4Q（現地10-12月）も引き続き好調
- ✓ 欧米での劇場公開が通常化しデジタルシネマサービスも好調

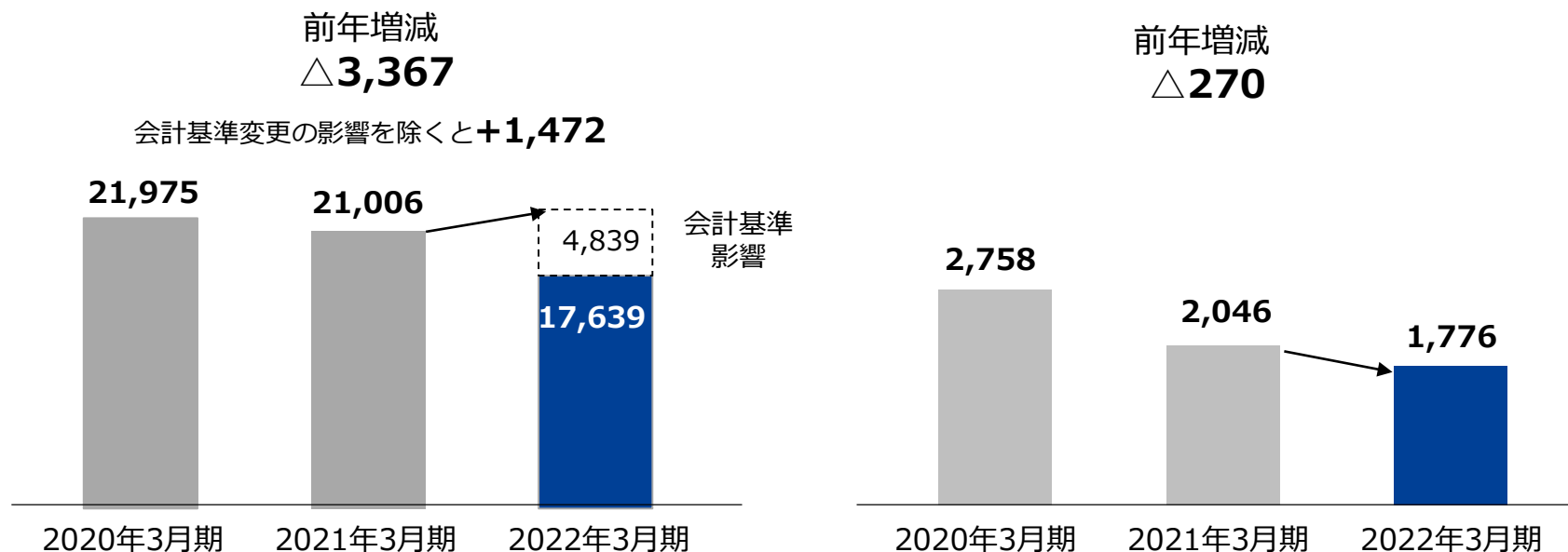


・ 会計基準変更の影響\*4を除くと14億円の増収も、放送局向けシステム苦戦で減益

売上高

のれん償却前営業利益

(単位：百万円)



- ✓ ハイスピードカメラは下期から国内販売が回復、アジア・欧米は好調継続
- ✓ CMオンライン送稿\*5はマーケットニーズ拡大により販売が引き続き好調
- ✓ 映像・画像処理LSI売上は国内および海外（特にアジア地域）の販売が好調
- ✓ 放送局向けシステムは需要低迷と営業活動制限により苦戦

\* 会計基準変更影響：モバイル通信回線売上を純額で計上したことによる影響

\* 子会社のセグメント変更により、2020年3月期、2021年3月期の「映像システム事業」の売上高、営業損益には株式会社イマジカ・ライヴを加えております。

# 2023年3月期 通期業績予想

- ・ 78億円増収、成長投資等による償却負担増もあり営業利益は1.8億円の増益見込み
- ・ 当期純利益は前期に税効果会計による法人税減少（益）もあり、減益見込み

(百万円)	2022年3月期	2023年3月期		
	実績	業績予想	前年 増減額	前年 増減率
売上高	80,184	88,000	7,816	9.7%
のれん償却前営業利益 (利益率)	5,131 (6.4%)	5,200 (5.9%)	69	1.3%
営業利益 (利益率)	3,417 (4.3%)	3,600 (4.1%)	183	5.3%
経常利益	3,934	3,300	△634	△16.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,729	2,100	△629	△23.0%
1株当たり当期純利益 (円)	61.49	47.30	△14.19	△23.0%

## 配当方針

当社グループは、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要事項のひとつと位置づけております。配当につきましては、連結業績に応じた利益配分を基本としたうえで、連結配当性向の目標を30%とし、安定した配当の維持と配当水準の向上を目指しております。

なお、特別な損益等の特殊要因が当期純利益に大きく影響を与える場合は、配当の決定にあたり、基本的に特殊要因を考慮した配当性向を踏まえ、株主様への安定的な配当と今後の事業展開や内部留保の状況などを総合的に勘案し決定いたしております。

**上記方針に基づき、2023年3月期の配当予想は15円とさせていただきます。**

	親会社に帰属する 当期純利益	1株当たり 親会社に帰属する 当期純利益	配当予想	配当性向
2023年3月期予想	2,100百万円	47.30円	15.0円	31.7%

# Appendix.

# 連結損益計算書

(単位：百万円)	2021年3月期		2022年3月期		
	実績		実績	前年増減額	前年増減比
売上高	<b>86,727</b>		<b>80,184</b>	△ 6,543	△7.5%
売上総利益 (売上総利益率)	<b>20,582</b> 23.7%		<b>23,386</b> 29.2%	2,803	13.6%
営業利益/損失 (営業利益率)	△ <b>1,084</b> —		<b>3,417</b> 4.3%	4,502	—
経常利益/損失 (経常利益率)	△ <b>1,343</b> —		<b>3,934</b> 4.9%	5,278	—
特別利益	<b>7,138</b>		<b>1,301</b>	△ 5,837	△81.8%
特別損失	<b>2,240</b>		<b>2,037</b>	△ 202	△9.1%
税金等調整前当期純利益	<b>3,554</b>		<b>3,198</b>	△ 356	△10.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	<b>3,454</b>		<b>2,729</b>	△ 724	△21.0%
(参考)のれん等償却前営業利益	<b>320</b>		<b>5,131</b>	4,811	1501.9%

※のれん等償却前営業利益 = 営業利益 + のれん償却 + 商標権他無形固定資産償却

# 連結貸借対照表

(単位：百万円)		2021年3月期末	2022年3月期末	前期比	主な増減要因	
資産の部	流動資産	30,440	41,066	10,625	受取手形及び売掛金 +3,659	
	うち現預金	6,908	6,420	△ 488	たな卸資産 +7,113	
	固定資産	30,005	32,317	2,312	建物および構築物 +2,383	
	うちのれん	12,048	11,482	△ 565	投資有価証券 △492 関係会社株式 △710	
資産合計		60,446	73,384	12,938		
負債・純資産の部	流動負債	22,117	32,278	10,161	支払手形及び買掛金 +3,468	
	うち短期借入金	7,402	4,170	△ 3,232	未払金 +611 契約負債 +5,562	
	固定負債	8,495	7,079	△ 1,415		
	うち長期借入金	5,384	4,019	△ 1,365		
	負債合計		30,613	39,358	8,745	
	株主資本		27,149	29,963	2,814	(参考) 自己資本
	その他包括利益累計額		301	1,185	883	2021年3月期末 27,450 (45.4%)
	新株予約権		11	—	△ 11	2022年3月期末 31,149 (42.4%)
非支配株主持分		2,370	2,876	505		
純資産合計		29,832	34,025	4,192		
負債純資産合計		60,446	73,384	12,938		

# 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)	2021年3月期 4Q	2022年3月期 4Q
税金等調整前当期純利益	3,554	3,198
減価償却費	2,757	2,059
のれん償却額	871	1,406
投資有価証券売却損益	-	△ 414
関係会社株式売却損益	△ 4,936	△ 417
売上債権及び契約資産の増減額	△ 52	△ 1,992
棚卸資産の増減額	2,741	△ 6,770
仕入債務の増減額	26	2,431
契約負債の増減額	△ 1,635	5,393
法人税等の支払額	△ 1,868	△ 389
その他	△ 2,051	2,911
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 592</b>	<b>7,414</b>
有形固定資産の取得による支出	△ 1,500	△ 3,996
無形固定資産の取得による支出	△ 709	△ 612
投資有価証券の売却による収入	5	944
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	5,859	417
敷金及び補償金の差入による支出	△ 23	△ 546
その他	△ 4,995	△ 134
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 1,364</b>	<b>△ 3,928</b>
短期借入金の純増減額	3,596	△ 2,023
長期借入れによる収入	4,939	-
長期借入金の返済による支出	△ 4,048	△ 1,974
その他	△ 3,018	△ 186
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,469</b>	<b>△ 4,183</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	211
<b>現金及び現金同等物の増減額</b>	<b>△ 485</b>	<b>△ 486</b>
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	14	48
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>6,856</b>	<b>6,419</b>

# セグメント別総括

(単位：百万円)		2021年3月期	2022年3月期		
		実績	実績	前期比増減	前期比増減率
映像コンテンツ事業	売上高	19,809	21,674	1,864	9.4%
	営業利益/損失	△ 440	582	1,023	—
	(営業利益率)	—	2.7%		
	のれん等償却前営業利益/損失	△ 440	587	1,028	—
映像制作サービス事業	売上高	46,973	42,080	△ 4,892	△10.4%
	営業利益/損失	△ 2,223	1,726	3,949	—
	(営業利益率)	—	4.1%		
	のれん等償却前営業利益/損失	△ 818	3,399	4,217	—
映像システム事業	売上高	21,006	17,639	△ 3,366	△16.0%
	営業利益	2,046	1,740	△ 305	△14.9%
	(営業利益率)	9.7%	9.9%		
	のれん等償却前営業利益	2,046	1,776	△ 270	△13.2%
その他	売上高	△ 1,063	△ 1,211	△ 147	—
	営業損失	△ 466	△ 631	△ 164	—
連結合計	売上高	86,727	80,184	△ 6,543	△7.5%
	営業利益/損失	△ 1,084	3,417	4,502	—
	のれん等償却前営業利益	320	5,131	4,811	1501.9%

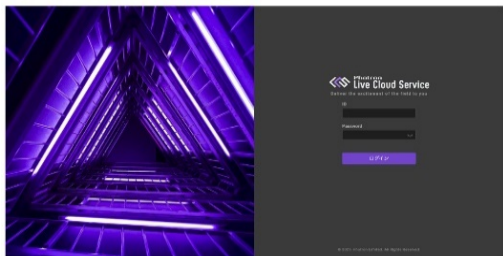


# 2022年1月～3月 主なグループTOPICS

2022/01/31  
フォトロン

高品質・低遅延で映像を伝送/共有する「Photron Live Cloud Service」のサービス提供を開始

Photron  
Live Cloud Service



2022/02/08  
コスモ・スペース

「NEC ネットズエスアイ Digital×Town” 5G ラボコンテンツ」を制作



2022/02/15  
イマジカデジタルスケープ

イマジカデジタルスケープ主催のeスポーツ大会「REALFIGHT」アマチュアゲーマーによるオンライントーナメントを2/26(土)に開催



2022/02/17  
フォトロン

生産技術分野向け3D CAD ソフトウェア『SQ CAD』新発売



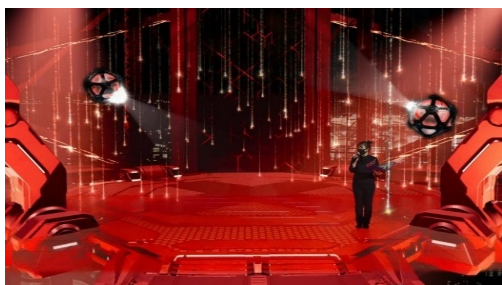
2022/03/14  
IMAGICA EEX

東京ガールズコレクションの世界観を完全再現したTGC公式メタバース「バーチャルTGC」を提供開始！



2022/03/17  
IMAGICA EEX

大型4面LEDパネルと本格XR映像システムが常設する最先端XRアリーナをプロデュース！



2022/03/25  
イマジカデジタルスケープ

アニメ作品「天神」を制作発表文化庁委託事業『あにめのたね2022』事業に参加



2022/03/31  
フォトロン

ハイエンド・コンパクト高速度カメラ『FASTCAM Nova S20』新発売



## \*1.グローバルE2Eサービス

End to End。映画・ドラマ・アニメーション等の映像コンテンツを制作するポストプロダクションから、それらを劇場、テレビ、インターネットを介した動画配信などあらゆるメディアで流通させるために必要なローカライズ(吹替、字幕制作)、ディストリビューション(流通)のためのメディアサービスまでをワンストップで提供するサービスの総称を指します。

## \*2.構造改革

本資料に記載されている構造改革は、[2021年1月22日付「新会社\(子会社\)設立と映像制作サービス事業の構造改革、グループ事業再編の実施及び当社と連結子会社の希望退職募集に関するお知らせ」](#)に記載のとおり、当社グループの持続的な成長並びに業績回復の実現を目的とし、映像制作サービス事業にて実施した希望退職を指します。

## \*3.動画配信事業者

インターネットを介したプラットフォームにて動画配信を行う事業者を指します。

## \*4.会計基準変更影響

会計基準変更により、映像システム事業におけるモバイル通信回線売上を純額で計上したこと等による影響を指します。

## \*5.オンライン送稿

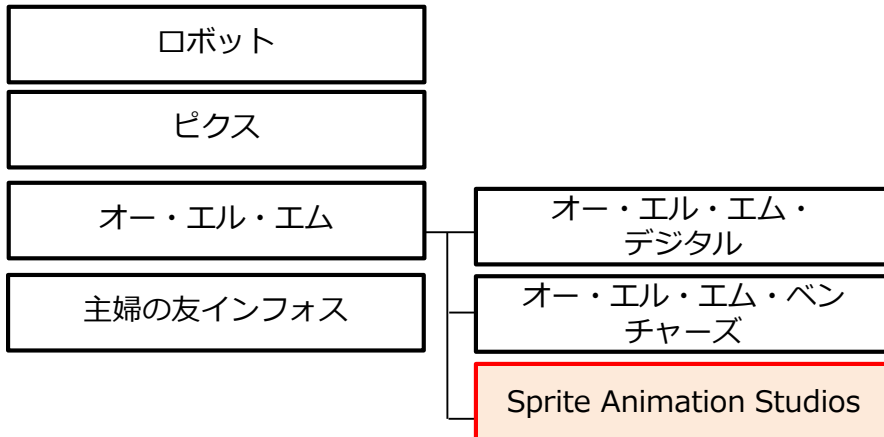
オンライン上でテレビCM素材等を放送局へ搬入するサービス(フォトロンで提供しているサービス：C.M.HARBOR)を指します。

# 事業セグメント別 連結子会社一覧（2022年3月期）



## 映像コンテンツ事業

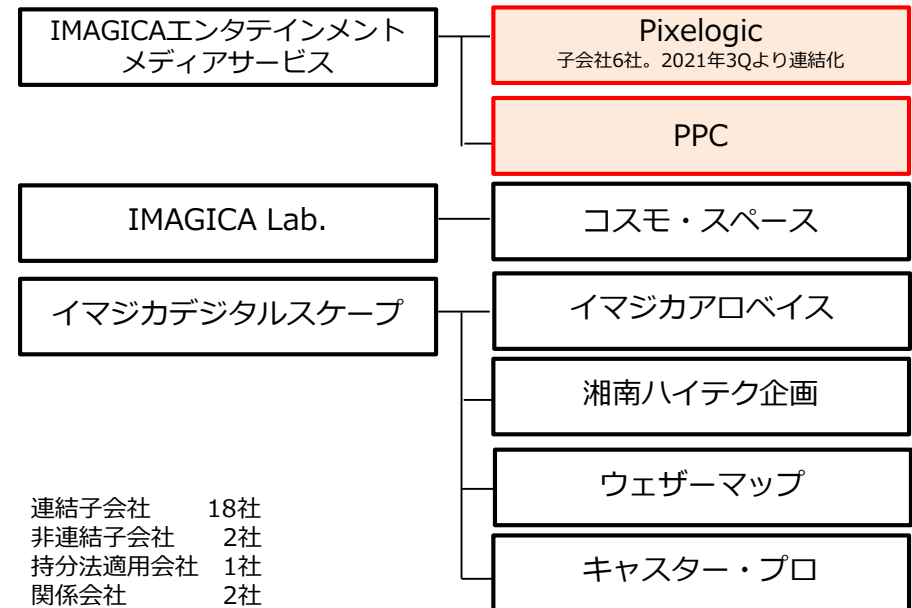
映画、アニメ、CM、TVドラマ、プロジェクションマッピング等のエンタテインメント映像の企画・制作



連結子会社 8社  
非連結子会社 3社

## 映像制作サービス事業

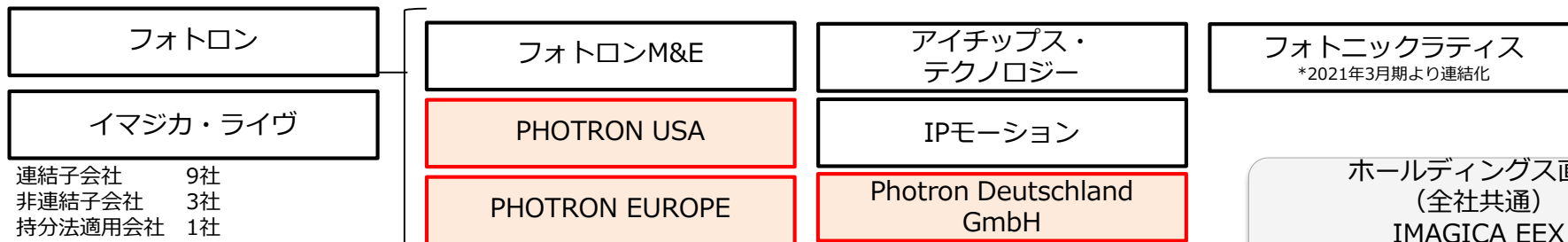
映像・音声編集、CG制作等の映像加工、字幕・吹替、配信・流通サービス、撮影、中継、ゲーム制作、人材派遣



連結子会社 18社  
非連結子会社 2社  
持分法適用会社 1社  
関係会社 2社

## 映像システム事業

放送局向け映像機器の設計～導入、ネットワーク回線を活用した映像伝送、映像編集クラウドシステム構築など映像システムソリューション全般。独自技術のハイスピードビデオカメラの開発製造事業CAD、画像関連LSI事業



連結子会社 9社  
非連結子会社 3社  
持分法適用会社 1社

ホールディングス直轄  
(全社共通)  
IMAGICA EEX  
\*2021年3月期より連結化

\*赤枠は海外グループ会社

# お問い合わせ先

株式会社IMAGICA GROUP グループ経営管理部

〒105-0022 東京都 港区 海岸 1-14-2

Email : [ir@imagicagroup.co.jp](mailto:ir@imagicagroup.co.jp)

URL : <https://www.imagicagroup.co.jp/>

Twitter : <https://twitter.com/IMAGICAGROUP>

## 【将来予測について】

本資料に記載されている当期ならびに将来の業績に関する予想、計画、見通し等は、現在入手可能な情報に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と異なる結果となり得ることをご承知おきください。